北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和６年度（2024 年度）授業等改善セミナー

水産　実施報告

令和６年 11 月 12 日（火）、北海道小樽水産高等学校を会場に「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」をテーマとして、教科「水産」の授業等改善セミナーを開催しました。全道から 13 名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、水産科における授業改善に向けての参考にしてください。

実　施　状　況

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭３名、道教委指導主事１名からなる「授業研究チーム」を編成し、オンラインで学習指導案の検討を２回実施しました。１回目の学習指導案検討会では、単元（まぐろ延縄漁業）の計画について、単元のねらいに対して内容の焦点を絞ること、学習指導案については、導入、展開、まとめの構成などについての意見が出されたほか、まぐろ延縄実習を実施しない学科の生徒が、今後の学びにつながる考察ができるようにするために、どのような手立てを講じればよいかなどの意見が出されました。これを受け、２ 回目の検討会では、学習指導案の構成の確認のほか、生徒の思考の幅を狭めさせないよう配慮すること、実際にまぐろ延縄実習を引率した教諭からの助言など、活発に協議が行われました。

【研究授業（実践発表）】北海道小樽高水産等学校　長谷川　みさき　教諭

「漁業」の単元「まぐろ延縄漁業」において、「まぐろ延縄漁業についてのメリット・デメリットを理解し、そのデメリットや混獲及びゴーストフィッシングについての課題を発見し、解決策を考えることができる」ことをねらいとして、研究授業を行いました。生徒は、導入において、前時までに個人で検討した問題点や課題をスプレッドシートに入力することで他の生徒と意見等を共有、展開ではグループ毎に、解決策を検討しました。

長谷川教諭は、検討中に机間巡視を行い、生徒の声を聞きながら、考える手がかりなどを示ことで、検討の活性化を促し、各班からの発表の時間につなげました。まとめでは、当学科では行わない実習についての学びを、今後どう生かしていくかについて示すなどまとめを行い、最後に、本時の学びを振り返りシートで生徒に整理してもらいました。

単元の計画と学習指導案はこちらから

【研究協議】「主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」

研究授業実施後に、(1) 本日の目標（ねらい）は達成できたか (2) 題材や問いは適切であったか (3) 主体的・対話的で深い学びにつながる授業であったか を柱に研究協議を行いました。(1) については、「他科における実習の動きを示すことで、漁業は一人で行っているものではないことを示すことができた。」、(2)については、「題材が『まぐろ延縄漁業のメリット・デメリット』ということもあり、生徒が取り組みやすい内容だった」、(3)については、「個人では発想できなかったことを、グループで話し合うことで気付く場面が見受けられた」、「生徒が積極的に話合いに参加できていたのは日頃からの指導の賜」などといった評価があった一方、「意見の共有、提示に使用するソフトウェアの選択には工夫が必要」など、改善の余地も挙げられた。

【授業研究チームによる振り返り】 ○成果 ●課題

○ 生徒に対する積極的なアドバイス
○ 各問題点ごとのまとめ方（整理の仕方）
○ 回答や発問、声掛け等の事前の想定や準備
○ 事前の検討会での評価の観点の調整
○ 生徒が楽しく授業に参加
○ 事前の検討会での助言等を適切に活用

● グループワークでの役割の設定
● 回答を促すための表（枠）の工夫
● 回答を見やすくするための色の活用
● 先生のまとめの時間の長さ
● 生徒の端末使用（ソフト選択、習熟等）
● 生徒に考えさせる機会の設定

セミナー参加者の声

【参加者の声】

○ まだ、あまり ICT の活用に取り組んでいないので、よいシュミレーションになった。
○ ICT の活用によって効率化した分、ねらいに焦点を当てて授業を進めることができていた。
○ 協議では、本事例を参考にしながら、議論と情報交換ができた。
○ 発問や ICT、グループワークの活用で学ぶ姿勢の変化がみられることを再認識できた。
○ ICT の活用では、考えの入力とシェアリングが重要だと理解できた。
○ 他人の授業に意見することがなかなか無いため、お互いによい時間になった。

【アンケートの結果（一部）】（回答数８）

○ 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まったか（左から「大いに深まった」「深まった」）

○ 「ICT（一人一台端末）を活用した効果的な学習指導」に関する理解は深まったか（左から「大いに深まった」「深まった」「あまり深まらなかった」）

○ 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」を通じた資質・能力の育成に取り組んでいるか（左から「すでに取り組んでいる」「取り組む予定」）

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

＜後志教育局ウェブページ URL＞ 後志教育局ウェブページはこちらから

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sbk/gakkyo.html